

このページのゴール この単元で学ぶ国家と国際法・日本の領土・経済格差・国際連合・地域主義を、ざっとと言える

The diagram illustrates the structure of the international system, organized into three main horizontal layers with vertical connections between them.

- Top Layer (International Union):** A grey rectangular box at the top contains the text "国際連合" (International Union) and "世界全体" (World as a whole).
- Middle Layer (International Society):** A white rectangular box in the center contains the text "国際社会" (International Society). Inside this box, there is a horizontal line, and below it, three rounded rectangular boxes represent "A国" (Country A), "B国" (Country B), and "C国" (Country C). Double-headed arrows labeled "国際法" (International Law) connect A国 to B国, and B国 to C国.
- Bottom Layer (International Relations):** A dashed-line rectangular box at the bottom contains the text "先進国 ⇄ 途上国" (Advanced Countries ⇄ Developing Countries) and "経済格差" (Economic Gap).

Vertical connections are shown with double-headed arrows (▲▼) between the layers:

- A double-headed arrow connects the "国際連合" box to the "国際社会" box.
- A double-headed arrow connects the "国際社会" box to the "先進国 ⇄ 途上国" box.

On the left side, a dashed-line box labeled "地域のまとまり" (Regional Groupings) with "EU・ASEAN など" (EU, ASEAN, etc.) is connected to the "国際社会" box by a horizontal line.

国家は、何でできている？ 国と国の間には、どんな決まりがある？ 日本の領土をめぐる、何が起きている？

豊かな国とそうでない国の差は、どうなっている？ なぜ生まれ、どんな援助が求められている？

国際連合は、どんなしくみで平和を守る？ どんな活動をし、どんな課題がある？

近くの国どうしは、なぜまとまる？ 貿易の決まりは？ まとまる良い点と課題は？

[illegible]

2 国家とは何？ 国の範囲はどこまで？

このページのゴール 国家の三つの要素、領域、排他的経済水域、公海を言える

① 国家をつくる三つの要素

日本の漁船は、どここの海でも自由に漁ができるのでしょうか。まず国の成り立ちを見ます。

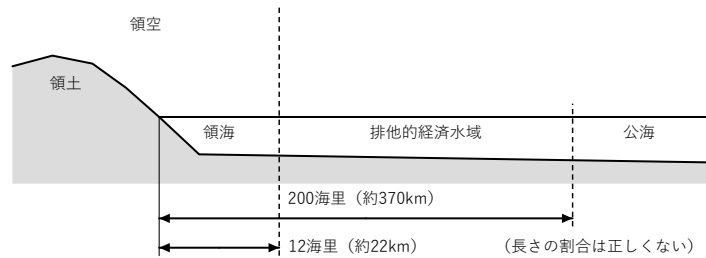
主権：ほかの国に支配されたり口を出されたりせず、自分の国の政治や外交を自分で決める権利。主権をもつ国を**主権国家**という。

要素	何か	日本の例
国民	国を支える人々	日本国民
領域	主権がおよぶ範囲	日本の領土など
主権	自国のことを自分で決める権利	日本の政治は日本が決める

国際社会は主権国家が集まってできています。国の大きさや人口、豊かさにかかわらず、たがいに対等です（**主権平等**）。ほかの国の国内の政治に口を出さないことも決まりです（**内政不干渉の原則**）。国旗と国歌は国のしるしで、たがいに尊重するのが国際的な礼儀です。日本は1999年に、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌と法律で決めました。

② 領域と排他的経済水域

領域（りょういき）は、**領土**（陸地）・**領海**（海岸線から**12海里**〔かいり。約22km〕までの海）・**領空**（領土と領海の上の空。宇宙はふくまない）からなります。



排他的経済水域（はいたてきけいざいすいいき）：領海の外側で、海岸線から**200海里**（約370km）までの海。沿岸の国が、水産資源や鉱産資源をとって利用できる。ほかの国の船は通れ、飛行機も上を飛べる（領域ではない）。

どの国の領海でも排他的経済水域でもない海を**公海**といい、どの国の船も自由に通ったり漁をしたりできます（**公海自由の原則**）。

注意 × 排他的経済水域は、その国の領域なので、ほかの国の船は通れない ○ 領域ではなく、船は通れる（A国の沖50海里で、B国の貨物船が通るのは認められる）。資源をとって利用できるのは沿岸の国（B国の漁船が、A国の許可なく漁をするのは認められない）

→ まとめ：国家は国民・領域・主権からなり、領域の外に排他的経済水域がある

1 全体像	2・3 国家と国際法	4・5 日本の領土	6・7 経済格差	8・9 国際連合	10・11 地域主義	12 まとめ
-------	------------	-----------	----------	----------	------------	--------

3 国と国の間には、どんな決まりがある？ なぜ大切？

このページのゴール 国際法（国際慣習法と条約）、国際協調、国際司法裁判所を言える

① 国と国の決まり — 国際法

国際法：国と国との間で守る決まり。国際慣習法と条約の2つの種類がある。

種類	何か	例
国際慣習法（かんしゅうほう）	長い間のならわしが、国と国の決まりとして認められた物	公海自由の原則・内政不干渉の原則（2ページ）
条約	国と国が文書で結ぶ約束。2つの国で結ぶ物も、多くの国で結ぶ物もある	国連海洋法条約（領海・排他的経済水域などを定めた）

日本では、条約は内閣が結び、国会が承認します（⑥で学んだ）。

場面（架空）	どちらか
A国とB国が、国境の川の水を半分ずつ使うと文書で約束した	条約
どの国の船も、公海を自由に通ることが、長い間のならわしになっている	国際慣習法

② 国際法が大切なわけ

	国の中	国際社会
決まりをつくる	国会が法律をつくる	条約を結ぶ国どうしがつくる。ならわしが決まりになる
守らせる・裁く	政府が仕事を行い、裁判所が裁く	国の上に立つ世界の政府は無い

世界の政府が無いので、国どうしが国際法を守り、話し合って協力すること（国際協調）で、争いを防ぎ、平和を守ります。

国際司法裁判所：国際連合の機関の一つで、オランダのハーグにある。国と国の争いを、国際法にもとづいて裁く。争っている国の両方が同意しないと、裁判は始まらない（5ページの竹島の例）。個人を裁く裁判所ではない。

注意 × 国際社会には、国の上に立つ世界の政府があり、決まりを守らない国を罰する ○ 世界の政府は無いので、国どうしが国際法を守り、協力することが大切

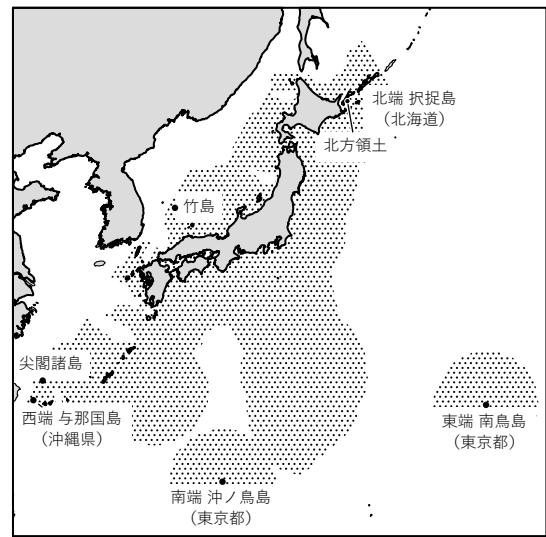
合言葉 「国際法＝ならわし（国際慣習法）＋約束（条約）」

→ まとめ：国と国の決まりは国際法で、国際協調と国際司法裁判所が争いを防ぐ

4 日本の領域には、どんな特色がある？ 北方領土の問題とは？

このページのゴール 日本の端の島、広い排他的経済水域、沖ノ島、北方領土を言える

① 島国の日本と広い排他的経済水域（中1で学んだ）



領海と排他的経済水域
排他的経済水域はおよその範囲
（となりの国との境が決まっていない所をふくむ）
地図：Natural Earth



空から見た沖ノ島
（東京都・丸い所が護岸で囲んだ島）

写真：
国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
（CC BY 4.0）。Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

沖ノ島は、満潮のとき、海の上に出る所がわずかです。波でけずられて島がなくなると、まわりの広い排他的経済水域を失うおそれがあるので、国が1987年から護岸（ごがん）工事を行いました。

日本は島国で、はなれた島が多いので、領海と排他的経済水域をあわせた広さは、国土の面積の10倍以上あります。

北方領土について、日本は返還を求めて、話し合いを続けています。元島民（島に住んでいた日本人）が、墓参りなどで島を訪ねる取り組みも行われてきました。

② 北方領土の問題

北方領土：歯舞群島（はばまいぐんとう）・色丹島（しこたんとう）・国後島（くなしりとう）・択捉島（えとろふとう）。日本固有の領土だが、今もロシアが不法に占拠している。

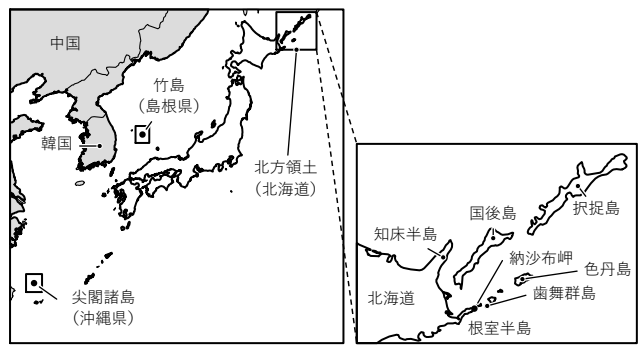
- ① 1945年 第二次世界大戦の終わりに、ソ連が北方領土を占領した。
- ② 1956年 日ソ共同宣言（中3③で学んだ）で国交が回復し、平和条約を結んだ後に、歯舞群島と色丹島を日本に引き渡すとした。
- ③ 平和条約はまだ結ばれておらず、今もロシアが不法に占拠している。

注意 × 北方領土は、日ソ共同宣言で4つの島とも日本に返された ○ 平和条約はまだ結ばれておらず、4つの島とも今もロシアが不法に占拠している

→ まとめ：日本は広い排他的経済水域をもち、北方領土の返還を求めている

5 竹島と尖閣諸島をめぐる、何が起きている？ どう解決する？

このページのゴール 竹島・尖閣諸島の経緯と今の状態、解決の考え方を言える



地図：Natural Earth

解決の考え方

武力で国境を変えてはなりません。国際法にもとづき、話し合い（外交）や国際司法裁判所などで、平和的に解決をめざします。いつ、どの国が、どのように治めてきたかという歴史の事実を、資料にもとづいて知ることが大切です。

① 竹島（島根県隠岐の島町）

- ① 1905年 日本固有の領土の竹島を、島根県に編入した。
- ② 1952年から 韓国が自国の領土だと主張し、警備隊を置くなどして不法に占拠している。
- ③ 日本は、国際司法裁判所で解決することを何度も提案してきたが、韓国が応じていない（両方が同意しないと裁判は始まらない。3ページ）。

② 尖閣諸島（沖縄県石垣市）

- ① 1895年 日本固有の領土の尖閣諸島（せんかくしょとう）を、沖縄県に編入した。日本が実際に治めている（有効に支配している）。
- ② 1970年代 近くの海底に石油などの資源がある可能性が指摘された後、中国などが自分の領土だと主張し始めた。
- ③ 日本政府の立場は「解決しなければならない領有権の問題は存在しない」。中国の船が日本の領海に入ることがあり、海上保安庁が警備している。

③ 3つの場所をくらべる

場所	都道府県	主張している国	今の状態
北方領土	北海道	ロシア	ロシアが不法に占拠
竹島	島根県	韓国	韓国が不法に占拠
尖閣諸島	沖縄県	中国など	日本が有効に支配

注意 × 尖閣諸島は、竹島と同じく、ほかの国に占拠されている ○ 尖閣諸島は、日本が有効に支配している

→ まとめ：領土の問題は、国際法にもとづき、平和的な解決をめざす

6 豊かな国とそうでない国の差は、どうなっている？

このページのゴール 先進国と発展途上国、南北問題、新興国と BRICS、南南問題を言える

① 先進国と発展途上国

身の回りの品物の多くは、中国やインドなど、急速に経済成長している国でつくられています。

先進国：経済が発展し、工業化が進んだ国（日本・アメリカ・ヨーロッパの国々など）。**発展途上国**（途上国）：経済の発展が遅れている国（アジア・アフリカ・中南アメリカに多い）。

南北問題：先進国と発展途上国の間の経済格差（かくさ）の問題。先進国の多くが北の方に、途上国の多くがその南にあることから、こうよばれる。

② 新興国の台頭

新興国：途上国の中で、工業化が進み、急速に経済成長している国。**BRICS**（ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ共和国。5つの国の英語の名前の頭文字から。2024年からほかの国も加わった）が代表的。

世界の生産や貿易の中で新興国の割合が大きくなり、国際社会での発言力が強まりました（台頭〔たいとう〕）。そのため、日本・アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・カナダの**G7**（主要国首脳会議。サミット）のほかに、新興国などを加えた**G20**でも、世界の経済について話し合います。

③ 途上国の間の差 — 南南問題

南南問題：途上国の間で、経済成長を続ける国や資源のある国と、発展が遅れたままの国との経済格差が広がっている問題。

先進国	国（架空）	20年前	今
▲▼ 南北問題	A国（先進国）	4万ドル	4万2千ドル
発展途上国	B国（新興国）	3千ドル	1万ドル
新興国	C国（途上国）	600ドル	700ドル
発展が遅れたままの国			
◀▶ 南南問題（差が広がる）			

1人あたりの所得。A国とC国の差が南北問題、B国とC国の差が広がることが南南問題。

注意 × 途上国は、どの国も同じように貧しい ○ 途上国の中でも、急速に成長した新興国と、発展が遅れたままの国があり、差が広がっている（南南問題）

合言葉 「北と南の差は南北、南の中の差は南南」

→ まとめ：先進国と途上国の差が南北問題、途上国の間の差が南南問題

7 なぜ格差が生まれる？どんな援助が求められている？

このページのゴール 格差が生まれるわけ（植民地の歴史・モノカルチャー経済など）と、持続可能な援助の考え方を言える

① 格差が生まれるわけ

6ページで見た格差は、なぜ生まれたのでしょうか。大きなわけが4つあります。

- ① かつて、ヨーロッパの国々などの**植民地**（しょくみんち）だった国が多い。独立した後も、特定の農産物や鉱産資源を輸出する経済が残った。
- ② **モノカルチャー経済**（中1で学んだ）では、その物の価格が下がったり、不作になったりすると、収入が大きく減る。
- ③ 政治が不安定だったり、紛争が起きたりする（くわしくは⑪後半）。
- ④ 学校・病院・道路・電気など、生活や産業を支える物が足りない。

モノカルチャー経済：国の輸出を、特定の農産物や鉱産資源にたよる経済。

場面（架空）	起きること
D国は、輸出額の6割が 카카오豆	카카오豆の価格が半分になると、輸出額の3割が失われる（6割× $\frac{1}{2}$ ）

② 求められる援助 — 持続可能性

食料やお金を一時的に送るだけでは、援助が止まると、また困ります。自分たちで産業を育て、収入を得られるようにする援助が大切です。援助を受ける国の人々の考えを聞き、その国に合った形にすることも欠かせません。

	一時的な援助	自立につながる援助
中身	食料やお金を送る	農業や工業の技術を教える／学校を建てて教育を広げる／道路や発電所をつくる
その後	援助が止まると、また困る	自分たちで収入を得られるようになる

日本も、政府開発援助（ODA）などで途上国を援助しています（くわしくは⑪後半）。

注意 × 援助は、食料やお金を送り続ければ十分 ○ 自分たちで産業を育て、収入を得られるようにする援助が大切

合言葉 「配るより、育てる援助」

→ まとめ：格差は植民地の歴史やモノカルチャー経済などから生まれ、自立につながる援助が求められている

8 国際連合は、どんなしくみで平和を守る？

このページのゴール 国際連合の成り立ちと目的、総会、安全保障理事会、拒否権を言える

① 国際連合の成り立ち

第一次世界大戦の後の国際連盟（1920年。中3①）は、大国が加わらず、武力による制裁もできず、戦争を防げませんでした。その反省から、新しい組織ができました。

国際連合（国連）：1945年に国際連合憲章にもとづいてつくられた。本部はニューヨーク。目的は、世界の平和と安全を守ること、国と国の友好を深めること、経済や社会などの問題を協力して解決すること。

加盟国は193か国（2026年）。日本は**1956年**に、日ソ共同宣言でソ連と国交を回復した後に加盟しました。

② 国際連合のしくみ



経済社会理事会は、経済・社会・文化・教育・保健などの問題を話し合い、専門機関（UNESCO・WHO など。9ページ）と協力する。

拒否権（きょひけん）：安保理で、常任理事国が1か国でも反対すると、決められない。棄権は反対ではないので、決定はさまたげられない。



国際連合の本部
（アメリカ合衆国 ニューヨーク）
写真：Jakub Hafun（CC BY 4.0）。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

	総会	安全保障理事会（安保理）
入る国	すべての加盟国	15か国＝常任理事国5か国（アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国）と非常任理事国10か国（任期2年。総会で選ぶ）
決め方	1国1票 の多数決（重要な問題は3分の2以上の賛成）	重要な問題は 9か国以上の賛成 が必要
決定の力	勧告（加盟国にすすめる物）。従わせる力は弱い	加盟国は従わなければならない。経済制裁などを決められる

例（架空） ある決議案に、15か国のうち12か国が賛成、常任理事国でない2か国が反対、常任理事国1か国が棄権 → 9か国以上が賛成し、常任理事国の反対が無いので、決まる。

注意 × 総会でも、常任理事国は拒否権を使って決定を止められる ○ 拒否権は安全保障理事会の常任理事国がもつ。総会に拒否権は無く、1国1票の多数決

→ まとめ：国際連合は、総会と安全保障理事会などで平和と安全を守る

9 国際連合は、どんな活動をしている？日本の役割と課題は？

このページのゴール PKO、おもな機関、分担金、日本の役割、安保理の課題を言える

① 平和を守る活動 — PKO

平和維持活動（PKO）：紛争が終わった地域などで、停戦を見守ったり、選挙を監視したりして、平和を守る国連の活動。

日本は1992年に**国際平和協力法**（PKO協力法）をつくり、自衛隊などをカンボジアなどへ送りました。

② 暮らしを支える機関

名前	何をする	例
UNESCO （国連教育科学文化機関）	教育・科学・文化を広める	世界遺産の登録
WHO （世界保健機関）	人々の健康を守る	感染症の対策
ILO （国際労働機関）	働く人の条件をよくする	労働の決まりづくり
UNICEF （国連児童基金）	子どもの命と健康を守る	予防接種・栄養

③ 国連の費用と日本の役割

国連の費用は、加盟国が出す**分担金**でまかなわれ、豊かな国ほど多く出します。日本は多く負担している国の一つです。日本は、外交・分担金・PKO・専門機関での活動で役割を果たし、非常任理事国に何度も選ばれてきました。

④ 国際連合の課題と改革

- ① 安保理で、常任理事国の意見が対立する。
- ② 拒否権が使われて、何も決められない。
- ③ 紛争に対応できないことがある。
- ④ 加盟国は1945年より大きく増えたのに、常任理事国は5か国のまま。常任理事国の数を増やすなど、**安保理の改革**が話し合われている（日本も常任理事国入りをめざしている）。

分担金を払わない国があり、お金が足りないことも課題です。

注意 × PKO は、国連が軍を送り、争っている国を武力でこらしめる活動 ○ 停戦や選挙を見守り、平和を守る活動

合言葉 「PKO で平和、専門機関で暮らし」

→ まとめ：PKO や専門機関が活動し、安保理の改革が課題

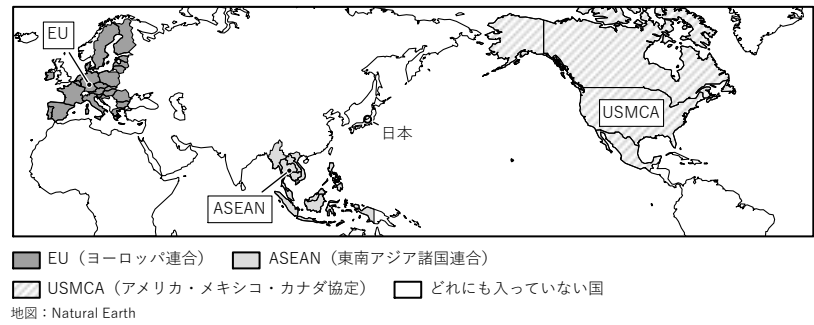
10 近くの国どうしが、なぜまとまる？

このページのゴール 地域主義と、EU・ASEAN・USMCA・APEC の特色を言える

① 地域のまとまり

ヨーロッパでは、国境をこえて通勤する人がいます。近くの国どうしは貿易や人の行き来が多く、まとまると大きな市場になり、世界の中での発言力も強まります。

地域主義（リージョナリズム）：近くの地域の国々がまとまり、経済や安全保障などで協力を強める動き。



名前	地域	できた年	特色
EU (ヨーロッパ連合)	ヨーロッパ	1993年	1967年の EC をもとに発足
ASEAN (東南アジア諸国連合)	東南アジア	1967年	経済や政治で協力する。日本は加盟していないが、結び付きが強い
USMCA (アメリカ・メキシコ・カナダ協定)	北アメリカ	2020年	3か国の貿易の決まり（前の NAFTA 〈1994年〉にかわる）
APEC (アジア太平洋経済協力)	アジア・太平洋	1989年	アジアと太平洋をかこむ国と地域が、経済の協力を話し合う場

日本は、地図の3つのどれにも入っていませんが、APEC などに参加しています。

② EU の特色

- 加盟国の間では、**関税をなくし**、人・物・お金・サービスが国境をこえて自由に移動できる。
- 共通の通貨**ユーロ**を使う国が多い（使っていない国もある）。
- EU の議会（ヨーロッパ議会）があり、加盟国全体の決まりをつくる。
- 2020年に**イギリスが離脱**（りだつ）した。課題は、西の国と東の国の経済格差。

注意 × EU の国は、どこもユーロを使っている ○ ユーロを使っていない国もある

→ まとめ：近くの国がまとまる**地域主義**（EU・ASEAN など）が広がっている

11 貿易の決まりは？ 地域でまとまる良い点と課題は？

このページのゴール 関税、WTO、FTA と EPA、利点と課題を言える

① 関税と自由貿易

国と国の貿易には、決まりがあります。

関税（かんぜい）：輸入品にかかる税。国内の産業を守るために使われる。 **自由貿易**：関税などの制限をなくして、自由に貿易すること。

世界貿易機関（WTO）。1995年）は、世界の自由な貿易の決まりをつくり、貿易の争いを解決します。

関税20%のとき（架空）	外国での値段（1kg）	国内に入る値段
関税がある	牛肉 1,000円	1,000円＋関税200円＝1,200円
関税がなくなる	牛肉 1,000円	1,000円（買う人には安い、国内の農家は競争がきびしくなる）

② FTA と EPA

	FTA（自由貿易協定）	EPA（経済連携協定）
約束する中身	特定の国や地域の間で、関税をなくしたり減らしたりする	関税だけでなく、投資や人の移動、知的財産（ちてきざいさん）なども広くふくめる

日本は2002年にシンガポールと最初の EPA を結びました。**TPP**（環太平洋経済連携協定）は、日本・オーストラリア・カナダなど、太平洋をかこむ国々の EPA です（2018年に発効）。RCEP（2022年に発効）には、日本・中国・韓国・ASEAN の国々などが入っています。

③ 地域主義・経済連携の利点と課題

利点

関税がなくなり、貿易が増える／商品が安く買える／企業が外国で仕事をしやすい／地域の平和と安定につながる

課題

安い輸入品が増え、国内の産業（農業など）が打撃を受けることがある／加盟国間の格差／自分の国のことを自分の国だけで決めにくくなる（イギリスの離脱の理由の一つ）／地域ごとに分かれて、世界全体の自由な貿易が進みにくくなるおそれ

考えるときは、全体で得をするか（効率）と、打撃を受ける人への支え（公正）の両方から考えます（中3④で学んだ）。

注意 × 関税をなくせば、国内のどの産業も得をする ○ 安い輸入品が増え、打撃を受ける産業もある

→ まとめ：FTA・EPA で経済の結び付きが強まり、利点と課題がある

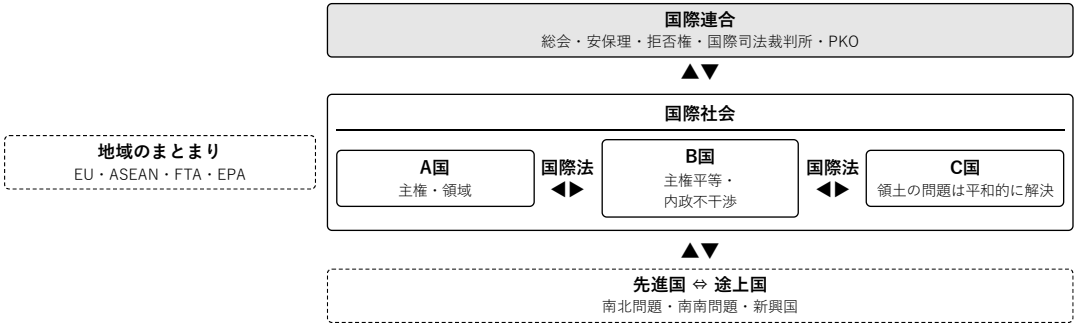
12 国際社会は、どんなしくみで平和と豊かさを守ろうとしている？

このページのゴール 2～11ページを、ステップチャートで順につないで、1ページの問いに答えられる

① ステップチャート

① 国家は国民・領域・主権からなり、主権国家はたがいに対等	くわしくは2ページ
② 国と国の決まりは国際法で、国際協調が大切	くわしくは3ページ
③ 日本は北方領土の返還を求め、領土の問題は国際法にもとづき平和的な解決をめざす	くわしくは4・5ページ
④ 先進国と途上国の南北問題、途上国の間の南南問題がある	くわしくは6ページ
⑤ 自立につながる援助が求められている	くわしくは7ページ
⑥ 国際連合は、総会や安全保障理事会などで平和と安全を守る	くわしくは8ページ
⑦ PKO や専門機関が活動し、安保理の改革が課題	くわしくは9ページ
⑧ 近くの国がまとまる地域主義（EU・ASEAN など）が広がる	くわしくは10ページ
⑨ FTA・EPA で経済の結び付きが強まり、利点と課題がある	くわしくは11ページ

② 国際社会の全体図



③ 問いの答えの例

国際社会は、主権をもつ国家がたがいに対等な立場で、国際法を守り、協力することで成り立っています。国際連合は、総会や安全保障理事会を通じて平和と安全を守り、PKO や専門機関で人々の暮らしを支えています。経済の面では、地域主義や FTA・EPA で結び付きを強める一方、南北問題・南南問題などの格差を、自立につながる援助で小さくしようとしています。日本も、領土の問題を国際法にもとづき平和的に解決することをめざしています。

確認問題 ① 主権国家と国の範囲・国際法・日本の領土

答えと解説は17・18ページ（9枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 主権国家と国の範囲について答えなさい。【2ページ】

- (1) 国家は、国民と主権、そして（ ）の3つがそろって成り立ちます。（ ）にあてはまる語を書きなさい。 _____
- (2) 領海は、海岸線から何海里までの海ですか。1つ選びなさい。
- ア 3海里 イ 100海里 ウ 12海里 エ 200海里
- (3) 領土と領海の上の空を、何といいますか。 _____
- (4) 排他的経済水域で、沿岸の国が認められていることを1つ選びなさい。
- ア 水産資源や鉱産資源をとって利用する イ ほかの国の船が通るのを止める
ウ ほかの国の飛行機が上を飛ぶのを止める エ 海の底の土地を、自国の領土にする
- (5) どの国の領海でも排他的経済水域でもなく、どの国の船も自由に通ったり漁をしたりできる海を、何といいますか。 _____
- (6) C国の漁船が、D国の海岸から150海里の所で、D国の許可なく漁をしました。この漁は認められますか。ア 認められる イ 認められない の記号で答えなさい。
- _____
- (7) ほかの国の選挙で、だれを選ぶかは口を出さない、という国際社会の原則を、何といいますか。
- _____
- (8) 国旗と国歌の扱いで、正しい物を1つ選びなさい。
- ア ほかの国の国旗と国歌は、尊重しなくてよい イ 自分の国の国旗と国歌を、ほかの国に使わせる
ウ どの国も、同じ国旗と国歌を使う エ ほかの国の物も同じように尊重する

2 国際法と国どうしの協力について答えなさい。【3ページ】

- (1) 長い間のならわしが、国と国の決まりとして認められた物を、何といいますか。
- (2) 日本で、外国と文書で約束を結ぶ所と、それを承認する所の組み合わせとして、正しい物を1つ選びなさい。
ア 国会が結び、内閣が承認する イ 内閣が結び、裁判所が承認する
ウ 内閣が結び、国会が承認する エ 裁判所が結び、国会が承認する
- (3) 国どうしが協力し合い、ともに問題を解決することを、何といいますか。
- (4) 国際社会で、国どうしが国際法を守ることが大切なのは、なぜですか。「世界の政府」「争い」の語を使って書きなさい。

3 日本の領土について答えなさい。【4・5ページ】

- (1) 日本の南の端の島で、波で島がなくなるのを防ぐため、国が護岸工事を行った島を、何といいますか。
- (2) (1)の島で、国が護岸工事を行ったのは、なぜですか。「排他的経済水域」「失う」の語を使って書きなさい。
- (3) 北方領土にふくまれない島を1つ選びなさい。
ア 国後島 イ 歯舞群島 ウ 南鳥島 エ 色丹島
- (4) 北方領土を、不法に占拠している国を答えなさい。 _____
- (5) 1956年に、日本とソ連の国交を回復し、平和条約を結んだ後に2つの島を日本に引き渡すとした宣言を、何といいますか。
- (6) 竹島がある県と、竹島を不法に占拠している国の組み合わせとして、正しい物を1つ選びなさい。
ア 沖縄県・韓国 イ 島根県・中国 ウ 北海道・韓国 エ 島根県・韓国
- (7) 尖閣諸島について、正しい物を1つ選びなさい。
ア 平和条約の後に島を引き渡すと決められた イ 日本が有効に支配している
ウ 韓国が不法に占拠している エ 島根県にある

確認問題② 経済格差・国際連合のしくみ

4 経済格差について答えなさい。【6・7ページ】

(1) 先進国のE国と、途上国のF国のように、豊かな国とそうでない国の間で、所得の差が大きいことが問題になっています。この問題を、何といいますか。

(2) BRICS にふくまれない国を1つ選びなさい。

ア ブラジル イ インド ウ 日本 エ 南アフリカ共和国

(3) 途上国の中で、工業化が進み、急速に経済成長している国を、何といいますか。

(4) 国の輸出を、特定の農産物や鉱産資源にたよる経済を、何といいますか。

(5) 輸出の大部分を、銅という1つの鉱産資源にたよる国で、収入が不安定になりやすいのは、なぜですか。「価格」「輸出」の語を使って書きなさい。

(6) 途上国の人々が自分たちで収入を得られるようにつなげる援助を、2つ選びなさい。 ア 毎年同じ量の食料を送り続ける
イ 農家に、作物のよい育て方を教える人を送る ウ 使い道を決めずに、お金を毎年送り続ける エ 子どもが通える学校をつくり、教える人を育てる

(7) アジアやアフリカの途上国の多くは、独立する前、何だったことが多いですか。1つ選びなさい。

ア ヨーロッパの国々などの植民地 イ 先進国の仲間入りをした国
ウ 国際連合の常任理事国 エ 日本の領土

5 国際連合のしくみについて答えなさい。【8ページ】

(1) 国際連合が発足した年を、1つ選びなさい。

ア 1920年 イ 1945年 ウ 1951年 エ 1993年

(2) 国際連合の本部がある都市を、1つ選びなさい。

ア ジュネーブ イ ハーグ ウ ニューヨーク エ パリ

(3) 第一次世界大戦の後に、平和を守るためにつくられた国際機関を、何といいますか。

(4) 安全保障理事会の常任理事国でない国を、1つ選びなさい。

ア アメリカ イ 中国 ウ フランス エ ドイツ

(5) 安全保障理事会の非常任理事国の数と任期の組み合わせとして、正しい物を1つ選びなさい。

ア 5か国・任期2年 イ 10か国・任期5年 ウ 15か国・任期2年 エ 10か国・任期2年

(6) 安全保障理事会の15か国のうち、重要な問題を決めるのに必要な賛成の数を、1つ選びなさい。

ア 9か国以上 イ 8か国以上 ウ 5か国以上 エ 15か国すべて

(7) 経済・社会・文化・教育・保健などの問題を話し合う、国際連合の機関を、何といいますか。

(8) 日本が国際連合に加盟した年は、何年ですか。 _____ 年

確認問題 ③ 国際連合の働き・地域のまとまりと経済の結び付き・まとめ

6 国際連合の働きについて答えなさい。【9ページ】

- (1) 内戦が終わった国で、国連が停戦を見守り、選挙を監視する活動を、アルファベット3字で何といいますか。
- (2) 日本が1992年につくり、自衛隊などをカンボジアなどへ送れるようにした法律を、1つ選びなさい。
ア 国際連合憲章 イ 日ソ共同宣言 ウ 国際平和協力法 エ 国連海洋法条約
- 次の(3)～(5)の場面にあてはまる機関を、ア～エから1つずつ選びなさい。 ア WHO イ UNICEF ウ ILO エ UNESCO
- (3) 世界遺産を登録する。 _____
- (4) 感染症が世界に広がらないよう、各国に情報を伝える。 _____
- (5) 途上国の子どもたちの命と健康を守るために、栄養のある食べ物を届ける。 _____
- (6) 国連の費用をまかなうために、加盟国が出すお金を、何といいますか。
- (7) 安保理の改革として話し合われていることを、1つ選びなさい。
ア 非常任理事国をなくす イ 常任理事国の数を増やす
ウ 総会で、拒否権を使うようにする エ 国際司法裁判所をなくす

7 地域のまとまりと経済の結び付きについて答えなさい。【10・11ページ】

- (1) ヨーロッパの国々や東南アジアの国々のように、近くの国どうしがまとまり、経済などで協力を強める動きを、何といいますか。
- (2) 2020年に EU を離脱した国を、1つ選びなさい。
ア イギリス イ ドイツ ウ イタリア エ フランス
- (3) EU の多くの国で使われている共通の通貨を、何といいますか。
- (4) アジアと太平洋をかこむ国と地域が、経済の協力を話し合う場を、1つ選びなさい。
ア EU イ ASEAN ウ USMCA エ APEC
- (5) 世界の自由な貿易の決まりをつくり、貿易の争いを解決する国際機関を、1つ選びなさい。
ア ILO イ WTO ウ ASEAN エ UNICEF
- (6) FTA と EPA のちがいで、正しい物を1つ選びなさい。
ア FTA は、関税のほか、投資や人の移動もふくむ イ EPA は、関税だけを対象にする
ウ EPA は、関税のほか、投資や人の移動なども広くふくむ エ FTA と EPA は、どちらも国際連合の機関である
- (7) オレンジなど外国の農産物の関税がなくなると、国内の農家にどんな影響がありますか。「安い」「輸入品」の語を使って書きなさい。

8 まとめ（ステップチャート）について答えなさい。【2～12ページ】

- (1) ② 国と国の決まりは（ ）で、国際協調が大切。（ ）にあてはまる、国際慣習法と条約をまとめたよび名を書きなさい。
- (2) ⑥ 国際連合は、総会や（ ）などで、平和と安全を守る。（ ）にあてはまる、世界の平和と安全を守る中心の機関を書きなさい。
- (3) 国際連合と、EU や ASEAN のような近くの国どうしのまとまりでは、協力する国の範囲がどうちがいますか。「世界」「地域」の語を使って書きなさい。【8・10ページ】

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

国家と国際法（2・3ページ）	
国家・主権	国家の三つの要素＝国民・領域・主権。主権＝自分の国のことを自分で決める権利（主権国家）。主権平等・内政不干渉の原則
領域	領土・領海（12海里）・領空。排他的経済水域＝200海里までの海で、水産資源や鉱産資源を沿岸の国が利用できる（ほかの国の船は通れる）。公海＝自由に通れる（公海自由の原則）。国旗と国歌は、たがいに尊重する
国際法	国際慣習法（ならわし）と条約（文書の約束）。条約は内閣が結び国会が承認。国際協調＝国どうしが協力する。国際司法裁判所＝ハーグ。国際法にもとづいて裁く。両方の同意が無いと裁判は始まらない

日本の領土（4・5ページ）	
日本の端	北＝択捉島・南＝沖ノ鳥島・東＝南鳥島・西＝与那国島。沖ノ鳥島は護岸工事で排他的経済水域を守る
北方領土	歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島。1945年にソ連が占領。日ソ共同宣言（1956年）。今もロシアが不法に占拠
竹島・尖閣諸島	竹島＝島根県。1905年に編入。韓国が不法に占拠。尖閣諸島＝沖縄県。1895年に編入。日本が有効に支配。解決しなければならない領有権の問題は存在しない。解決は国際法にもとづき平和的に解決をめざす

経済格差（6・7ページ）	
格差の用語	先進国・発展途上国・南北問題。新興国・BRICS（ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ共和国）。G7 と G20。南南問題＝途上国の間の格差
わけと援助	植民地だった歴史・モノカルチャー経済（価格が下がると収入が減る）・政治の不安定・生活を支える物の不足。自立につながる援助（技術・教育・道路や発電所）

国際連合（8・9ページ）	
国際連合	1945年・本部はニューヨーク。国際連盟（1920年）の反省。日本は1956年に加盟
おもな機関	総会（1国1票）。安全保障理事会＝常任理事国5か国（アメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国）と非常任理事国10か国（任期2年）。9か国以上の賛成・常任理事国が1か国でも反対すると決められない（拒否権）。経済社会理事会・国際司法裁判所・事務局（事務総長）
活動と課題	PKO（平和維持活動）と PKO 協力法（1992年）。UNESCO（教育・科学・文化）・WHO（健康）・ILO（働く人）・UNICEF（子ども）。分担金。安保理の改革

地域主義と経済の結び付き（10・11ページ）	
地域主義	EU（1993年・関税をなくす・ユーロ・議会・2020年イギリスの離脱）・ASEAN（東南アジア）・USMCA（北アメリカ）・APEC（アジア太平洋）
貿易の制度	関税・自由貿易・WTO（1995年）・FTA（関税）・EPA（関税のほか投資や人の移動なども）・TPP。利点＝貿易が増える・商品が安い。課題＝国内の産業の打撃・格差

合言葉	
「国際法＝ならわし（国際慣習法）＋約束（条約）」／「北と南の差は南北、南の中の差は南南」／「配るより、育てる援助」／「PKO で平和、専門機関で暮らし」	

確認問題の答えと解説

1【2ページ】

(1) 領域 (2) ウ (3) 領空 (4) ア (5) 公海 (6) イ (7) 内政不干渉の原則 (8) エ
(1) 国家は国民・領域・主権の3つがそろって成り立つ。(2) 領海は海岸線から12海里まで。(3) 領土と領海の上の空が領空。(4) 排他的経済水域では、水産資源や鉱産資源を沿岸の国が利用できる。ほかの国の船は通れる。(5) どの国の船も自由に通れる海が公海。(6) 150海里は、領海(12海里)の外で200海里以内なので、D国の排他的経済水域。資源を利用できるのはD国なので、許可なく漁をするのは認められない。(7) ほかの国の国内の政治に口を出さない原則。(8) ほかの国の国旗と国歌も尊重する。

2【3ページ】

(1) 国際慣習法 (2) ウ (3) 国際協調 (4) (例) 国際社会には世界の政府が無く、国どうしが国際法を守って、争いを防ぐ必要があるから。
(1) 長い間のならわしが決まりになった物。(2) 条約は内閣が結び、国会が承認する。(3) 国どうしが協力し合うこと。(4) 入れる語「世界の政府」「争い」。

3【4・5ページ】

(1) 沖ノ鳥島 (2) (例) 島がなくなると、まわりの広い排他的経済水域を失うから。(3) ウ (4) ロシア (5) 日ソ共同宣言 (6) エ (7) イ
(1)(2) 満潮のとき海の上に出る所がわずかな南の端の島。(3) 南鳥島は東の端の島で、北方領土ではない。(4) 北方領土はロシアが不法に占拠している。(5) 国交を回復し、平和条約の後に歯舞群島と色丹島を引き渡すとした。(6) 竹島は島根県で、韓国が不法に占拠している。(7) 尖閣諸島は沖縄県にあり、日本が有効に支配している。アは北方領土、ウは竹島、エは竹島の県の説明。

4【6・7ページ】

(1) 南北問題 (2) ウ (3) 新興国 (4) モノカルチャー経済 (5) (例) 銅の価格が下がると、輸出で得られる収入が大きく減るから。(6) イ、エ (7) ア
(1) 先進国と途上国の間の格差。(2) BRICS はブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ共和国。(3) 途上国の中で急速に成長した国。(4) 特定の物の輸出にたよる経済。(5) 入れる語「価格」「輸出」。(6) 技術を教える・学校をつくるのは、自分たちで収入を得られる援助。食料やお金を送り続けるだけでは、止まるとまた困る。(7) 途上国の多くはヨーロッパの国々などの植民地だった。

5【8ページ】

(1) イ (2) ウ (3) 国際連盟 (4) エ (5) エ (6) ア (7) 経済社会理事会 (8) 1956年
(1) 国際連合は1945年に発足。(2) 本部はニューヨーク。(3) 1920年にできた国際連盟。(4) 常任理事国はアメリカ・イギリス・フランス・ロシア・中国の5か国。(5) 非常任理事国は10か国で任期2年。(6) 重要な問題は9か国以上の賛成が必要。(7) 経済・社会・文化・教育・保健などを話し合う機関。(8) 日本の加盟は1956年。

6【9ページ】

(1) PKO (2) ウ (3) エ (4) ア (5) イ (6) 分担金 (7) イ

(1) 停戦や選挙を見守る平和維持活動。(2) 1992年の国際平和協力法 (PKO協力法)。(3) 世界遺産の登録は UNESCO。(4) 感染症の対策は WHO。(5) 子どもの命と健康を守るのは UNICEF。(6) 加盟国が出すお金。(7) 常任理事国の数を増やすなどの改革が話されている。

7【10・11ページ】

(1) 地域主義 (2) ア (3) ユーロ (4) エ (5) イ (6) ウ (7) (例) 安い輸入品が増えて、国内の農家は競争がきびしくなる。

(1) 近くの国がまとまる動き。(2) 2020年に離脱したのはイギリス。(3) EU の多くの国で使う通貨。(4) アジアと太平洋をかこむ国と地域の協力の場合は APEC。(5) 貿易の決まりをつくり争いを解決するのは WTO。(6) EPA は関税のほか、投資や人の移動なども広くふくむ。(7) 入れる語「安い」「輸入品」。

8【2～12ページ】

(1) 国際法 (2) 安全保障理事会 (3) (例) 国際連合は世界の国々が協力し、EU や ASEAN は近くの地域の国々が協力する。

(1)(2) 12ページのステップチャートの②と⑥。(3) 入れる語「世界」「地域」(8・10ページ)。